

令和4年度
3月号

幼稚園だより



令和5年2月28日
文京区立湯島幼稚園

思いを込めて

園長 前田 宏子

通勤途中の街路樹の早咲きの桜が咲き始めました。朝晩の寒さはありますが、少しずつ春の訪れを感じるようになりました。

2月に行われたゆしまキッズフェスタではたくさんの保護者の方にご参観いただきありがとうございました。子どもたち一人一人が自分のやりたいと思うことをやろうとする思いがあふれていたと思います。なりきって動くことを楽しんでいた子、小道具を作ることを楽しんでいた子、大道具を動かすことに一生懸命だった子。劇遊びというと演じることが大切だと思われそうですが、劇を進行するにはたくさんの準備と動きが必要になります。その一つ一つに思いを込めて関わる子どもたちの姿に大きな成長を感じました。

劇を作っていく過程では様々な思いを体験した子どもたちがいます。いつも順調に進んでいるわけではなく、悩んだり考えたりする時間を大切にしたらこそ、それぞれの思いがあふれた劇遊びをすることができたのだと思います。キッズフェスタの2、3日前のこと。5歳児Aくんが「園長先生、強いて大変だね」とつぶやきました。Aくんにとって様々な場面で心を揺さぶられたことがあったのだなあと思いました。

教師は一人一人の子どもの思いをくみ取り、友達同士の思いをつなげ、一つのものを作り上げていきました。令和の日本型学校教育の中で“個別最適な学び”について取り上げられています。幼児教育はその特性からも以前から個別最適な学びを意識していたと思います。3歳から6歳の子どもの特性を考えていくと必ずからそのような教育方法が必要です。学級としての成長は間違いなく一人一人の成長があってこそです。子どもたちが自分のやったことが認められ、自分で「やったぞ!」と自らが充実感を感じられるという思いをもつことがとても大切です。人から認められ、自分を認められ、そして次のステップに進んでいく…小さなことの積み重ねが、成長していく中で大きな糧になっていくと信じています。人からの評価だけではなく、自分で自分のことを認められることが大切です。

3月です! 次のステップへの旅立ちの時です。

湯島幼稚園の子どもたちはこの一年間の経験が積み重なり、来年も大きく成長する日々が待っていることでしょう!

少しずついつもの生活が戻りつつある中での一年間でした。子どもたちの笑顔や笑い声はいつの時も変わらず幼稚園を包んでくれていることに幸せを感じます。

保護者の皆様、地域の皆様には幼稚園の教育のご理解・ご協力をいただきましたことに感謝いたします。